

スペシャル対談

代表取締役社長

フリーキャスター

## 岡田 賢二 VS 進藤 晶子

新しい時代、社会、くらしのために

# いま、エネルギーに必要な「もっと」は何だろう？

エネルギービジネスに関わる企業にも大きな変化が求められる中、「社会とくらしのパートナー」としてチャレンジを続けるエネクスグループ。その人材活用と未来志向の企業像のあり方について、フリーキャスターの進藤晶子氏をゲストに迎え岡田社長と共に語り合いました。

### もっと、女性の活躍するエネルギーへ

**岡田** ご活躍はテレビで拝見しています。アナウンサーのキャリアはどれくらいになりますか？

**進藤** 1994年にTBSに入社して以来ですから20年以上になります。2001年の29歳の時からフリーランスとして活動させていただいています。

**岡田** テレビを観ていると進藤さんのような女性の活躍が目立ちますね。

**進藤** 表面的にはそう見えるかもしれませんが、実際は男性中心の職場ではないでしょうか。1つの番組をつくるにしても企画から準備、収録、放送まで長い時間と手間がかかり、強靱な体力やチームワーク、ディレクションの統率力なども重要になります。完成した番組で女性の役割が目立つのは確かですが、基本的には男性パワーで動いている業界といえると思います。

**岡田** そうですか。実は私たちエネルギー業界も長い間、男性中心の職場でした。ビジネスの仕方も男性のパワーで押していくのが主流で、女性を受け入れたがらない世界だったように思います。しかしエネルギー業界がこのままでいいとは思いません。

**進藤** もっと女性の力が必要ということですか？

**岡田** その通りです。私事で恐縮ですが、人生を振り返ると祖母や母、そして妻に支えられ、大きな転

機や苦境にある時は助言や叱咤をもらいました。身近にいる女性の支えに恵まれてきた経験から、ビジネスにおいても女性の力を活かすことが非常に重要だと考えています。最近では女性管理職の登用や新卒総合職の女性採用に努めています。

**進藤** テレビの世界でも主婦に代表される女性の視点は重要です。特に平日の朝から夕方までの長い時間帯は主婦層がチャンネル権を握り、番組の視聴率を左右します。最近パートで働く主婦が増えていますから、そうした人々の興味や関心、ニーズに敏感でいるよう心掛けています。

### 転機を乗り越え、働き続けるために

**岡田** 進藤さんもお家庭を持ち、子育てをしながら



出産、育児は人生の大きな転機であると同時に親として成長する時期でもある

活躍しておられますが、女性が働き続けることの難しさをどのように乗り越えてこられましたか？

**進藤** 女性には特有の人生の転機があり、その時々でどういう道を選ぶか難しい選択を迫られます。私の場合も出産が大きな転機でした。幸いフリーという立場だったので子育て中心の生活に切り替えましたが、その期間はどうしても仕事を減らさざるを得ません。しかしテレビで知り合いの女性アナウンサーが活躍しているのを見ると、「私も早く現場に戻って頑張らなくちゃ」と焦りも感じます。結局、子どもとふれあう喜びは何物にも代えられませんが、人生にはこの時期しかできない経験というものがあると思えました。

**岡田** 私などは子どもが生まれた時も仕事ばかりで、今頃になってもう少し子どもたちと一緒に過ごす時間をつくれれば良かったと猛反省しています。妻からは「何をいまさら」と言われていますが(笑)。

**進藤** 子育ては自分の成長にもつながる大切な期間だと思います。会社勤めの場合でも、それぞれの家庭の事情に合わせて柔軟な働き方を選べれば、出産や育児も乗り越えて働き続けることができると思いますが、いかがでしょう？

**岡田** おっしゃる通りです。一人ひとりの仕事と家庭の両立を大切に、女性、男性を問わず、出産、育児を支援する多様な働き方が選べる制度づくりを進めているところです。

### もっと、一人ひとりが輝くエネルギーへ

**岡田** 進藤さんは様々な企業や経営者の方々のお話を聞く機会が多いと思います。元気な会社の元気の理由は何でしょうか？

**進藤** 私がお会いする会社は分野も事業規模も様々ですが、みなさんに共通するのが仕事を楽しくしているということですね。1日決まった時間だけ働くというのではなく、自分のやりたい仕事をどうやってもっと充実したものにするか、ということに時間を忘れて熱中している気がします。そんな好奇心やチャレンジに刺激され、私たちのほうも元気をもらうという経験がたくさんあります。

**岡田** なるほど、それはいいお話ですね。

**進藤** 元気な会社ではいろんな人の個性や能力がそれぞれに輝いているのを感じます。先ほどから女性の活用が必要というお話がありましたが、女性をはじめ男性も、さらに経験の長短といった既存の枠を超えた「多様性の力」が会社の中に必要な時代なのではないでしょうか。

**岡田** 当社も2015年度から新しい人事制度をつくり、一人ひとりの個性と能力をより活かせる新体制に移行しました。この4月には組織改革も行って大きく2つの事業グループに集約し、お互いに連携しながら存分に力を発揮できると期待しています。そ



女性の力とまなごしを活かし、  
もっと社会に貢献できる  
新しいエネルギー会社を目指します。

のためにも一人ひとりが自分から進んで課題に取り組み、向上心をもって努力することが大切です。

向上意欲に応え、開かれた会社を目指す

**進藤** 私はフリーになって時間ができた時、慶應義塾大学大学院で介護家族の支援について学びました。特に必要に迫られたわけではなく自分の成長に役立つと思ったからです。エネクスでも教育制度やキャリア支援制度が充実しているそうですね。

**岡田** MBA取得や会計学を学べる社会人大学院制度、キャリアアップのための教育研修制度もあり、男女を問わず利用しています。子育て中で時短勤務を利用している社員の中には、自由に使える通勤時間を利用して会社が支援する通信教育で学んでいる女性もいます。

**進藤** それはすごいですね。私の体験でも、子育て中で自分の時間が十分にとれない時は、どうやって時間を有効に使うかを一生懸命に考えました。時間に制限があるほうが仕事の質を高められるということはあるかもしれません。

**岡田** 男性は1日24時間たっぷりあると思っていますから(笑)、女性のかしこさや集中力に敬意を表し



「エネクスファミリー DAY」等で社員のワークライフバランスを推進

たいですね。むしろ女性が頑張るから男性も頑張る、そんな会社にしていくことが重要だと思います。また、次世代のことを考えると、エネルギーの仕事に取り組む社員の働く姿をこどもたちにも見てもらうことも大切だと思います。当社は2015年度から「エネクスファミリー DAY」と題して社員のこども(小学生)を対象にした会社見学会を実施しています。

**進藤** それはおもしろいイベントですね。親子の心の絆や職業観の育成にも役立つと思います。

もっと、社会に役立つエネルギーへ

**進藤** 東日本大震災を経験してから、消費者、生活者のエネルギーに対するニーズも変わってきました。環境意識の高まりでライフスタイルが変化し、その一方でエネルギーを安心して使える豊かさも求められています。エネルギー会社として、エネクスグループへの期待も高まりますね。

**岡田** 当社は半世紀以上にわたり、石油・ガス製品を取り扱うエネルギー商社として歩んできましたが、現在では電力小売りや地域熱供給などのサービスも展開しています。2017年4月にはガス市場の自由化も始まり、競争が激しくなる一方ですますますおもしろい時代になってきたと思っています。

**進藤** 電力会社を自由に選べる時代になり、消費者も様々なサービス会社に注目していると思います。エネクスでは発電所も自社で開発し、運用しているとお聞きしましたが、再生可能エネルギーの活用も進んでいますか？

**岡田** はい、当社グループの自社電源では、風力、水力、太陽光の発電所の割合は30%を超えています。先日も新潟県の山あいにある水力発電所を視察してきましたが、自然の力を活かしたエネルギーの

独自の社会貢献活動を通して  
次世代を育て、元気にする  
エネクスグループに期待します。



仕組みに感銘を受けました。もちろん設備は何度も更新されていますが、100年近くも前に自力でつくり上げた人々の知恵と汗に心を打たれ、現代に生きる私たちももっと夢をもってエネルギー事業に取り組んでいくべきだと思いました。お客様や社会のためにエネルギー会社にできることはもっとたくさんある、そう思います。

夢をもち、成長を目指して、共に前へ

**進藤** 私とエネクスとの関わりは、御社の開催する社会貢献活動「ことばの力を楽しむ会」に始まります。私が尊敬する先輩アナウンサーの一人、山根基世さんと一緒にさせていただいてこどもたちに絵本の語り役を務めさせていただいていますが、非常にありがたい体験と感じています。

**岡田** 長くじっとしているのがつらい幼いこどもたちが、山根さんや進藤さんの語りに静かに耳を傾け、スクリーンに映る絵物語に目を輝かせている姿を見ると、こういう活動を続けて良かったと思います。



エネクス主催の「ことばの力を楽しむ会」で山根基世さんと共演する進藤氏

Profile しんどうまさこ ©1994年TBS入社後、「ランク王国」司会、「筑紫哲也NEWS23」スポーツキャスターなどを経て2001年退社、フリーに。2002年FIFAワールドカップサッカーやテニス中継のキャスター、人気番組「がっちりマンデー!!」のレギュラー司会などテレビ、ラジオで活躍するほか、インタビューや小説などの著作活動も積極的に展開。

す。進藤さんのこれからの夢は何ですか？

**進藤** そもそも「職人のような仕事をしたい」という夢を抱いてこの世界に入り、その思いは最近ますます強まっています。今後は「ことばの力を楽しむ会」などの機会をいただきながら、プロのアナウンサーとしてさらに成長していきたいと思っています。もちろん家庭や子育ても大切にしながら。今日の対談を通じて岡田社長のお考えやエネクスの様々な取り組みを知ることができました。私たちの社会や暮らしに大切なエネルギーを届けてくれるエネクスグループのますますのご発展を願っています。

**岡田** 今後さらにより良い、働きがいのある、家族や社会に誇れる会社となり、社会とくらしのパートナーとしてもっと貢献できるグループに育てていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

